



原町小だより「はらまち」

川口市立原町小学校
全校児童数422名

「なかよく」「かしこく」「たくましく」

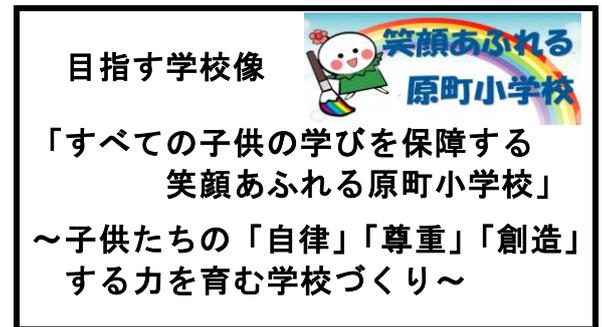
HPアドレス <https://haramachi-kawaguchi.edumap.jp/>

「自律」について

校長 加田 明

若葉の緑がすがすがしく感じられる季節となりました。新年度がスタートして1カ月がたち、子供たちの表情にも新しい学級に慣れてきた様子が見えられます。

さて、本校の目指す学校像は「すべての子供の学びを保障する笑顔あふれる原町小学校」です。「すべての子供が楽しく学校で学び合うことのできる学校」を目指しています。そしてこれからの社会でよりよく生きていくために必要な力を「自律」「尊重」「創造」ととらえ、その力を育む教育を実践していきます。



今日は育む力のなかの「自律」についてお話ししたいと思います。

「自律」を辞書で引くと「他からの支配・制約を受けずに、自分自身で立てた規範に従って行動すること」とあります。それは、「自分勝手に行動したり、自分の都合だけ考えたり、何でも自分だけで決めること」ではありません。また、「自分のことは全部自分でやって、他人に迷惑をかけること」とも異なります。自律とは「自らの能力を最大限に発揮し、自ら考え、行動できる力」「自由な考えや行動のもつ意味やその大切さ、さらに、それに伴う自分の責任を踏まえた行動」であり、「互いが適切に依存し合うことができるようになること。困ったときには「助けて」と言える力」です。

「みんなと同じことができる」「言われたことを言われたとおりにできる」という従来の教育活動が目指してきたことから、「自ら課題を見つけ、それを解決する力の育成」「自分のよさや可能性を認識して、一人一人の資質・能力を高めていくこと」が今の学校教育では求められています。

「先生や大人の指示をしっかり聞くこと」は大切ですが、「指示がなければ動かない」「教えたことしか学ばない」子供では急激に変化し続けるこれからの社会で生きていくのは困難です。日々の生活で失敗をしてしまった子供や友達とケンカした子供に「～してはいけません」「～しなさい」と指示を出すのではなく、「どうしたらいい？」と問いかけて、子供に考えさせる。「何か、手伝うことある？」と子供の支援をしていく。失敗体験をそのままにせず成功体験に変えることが大人の役割です。

時には自分から助けを求めたり、他者と協働することも必要です。自分で解決できないと判断して助けを求めることも自律なのです。

子供たちの「自律」を培い、一人一人の子供たちが、自分のよさや可能性を認識して、自ら課題を解決していく力、正解のない課題についても自ら考え抜く力を育んでいきたいと思ひます。

